

走潟公民館だより 7月号

6月21日（金）に用水の水が入り、農家の方々にとっては、田植えのシーズンになりました。先日、気象台からは例年より数日遅れでの「梅雨入り」と発表がありました。正に、恵みの雨の到来です。

「集い・ふれあい・学び」

文責：走潟公民館長 芥川 学

公民館では、第2回子供地域活動（青空教室）や第1回成人講座を開催いたしました。青空教室では、子供たちの元気な笑い声や真剣な活動への取組が見られ、とても嬉しくなりました。

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ油断できませんが、今年度も、部屋の換気などに気をつけながら、充実した取組に努めていきたいと思えます。

第1回成人講座6・12（水） 「防災教室」

～自然災害に対する備えと地域のつながり～

今年度も、第1回成人講座は、地域の課題を取り入れた「防災教室」を実施しました。市危機管理課の2名の職員の方に、上記のテーマについて、DVD視聴や講話を聴きました。たくさんの学びがありましたので、日頃からの防災に役立てていければと思います。

- ① **防災とは**：災害を未然に防止し、災害が発生した場合における被害の拡大を防ぎ、及び災害の復旧を図ること。
- ② **身近な災害**：○大雨→洪水→土砂災害 ○台風→高潮 ○地震→津波
- ③ **避難の際に準備するもの**：◎食料…飲料水、非常食 ◎救急、安全…持病の薬、けが対策 ◎感染症…マスク、消毒薬 ◎日用品…ライト、ラジオ、充電器、洗面用具
- ④ **大事なこと**：●自分の命を守る ●非難するタイミング

日頃から、まずは自分や家族の命を守るためには、一世帯に一冊配付の「宇土市総合防災マップ【東部地区版】2022年（令和4年）3月作成改訂版」をぜひ活用しませんか。裏表紙の「宇土市版 風水害時 マイタイムライン」に我が家の行動計画を記入し、避難するタイミングを家族で共有したいものです。災害は忘れたころにやって来る→忘れる間もなくやって来る、避難行動の戒めとしたいものです。



真剣な表情で聞き入る皆さん



市危機管理課の講話



4年生と袋掛け後の記念撮影

大きな実になーれ！マルメロ

5月30日（木）に、走潟小学校4年生とマルメロ会員（村田一信会長）が、今年度も、マルメロの木3本になっている、約100個の実に袋掛けをしました。9月に収穫し、ジャムづくりを予定しています。マルメロの木は、順調に生育しており、子供たちは、自分の名札を付けた実が大きく成長することを願って、丁寧に袋を掛けました。1時間ほどで作業は終了しました。秋の収穫が楽しみです。

第2回子供地域活動 6・8(土)～エコフラワー教室～



今回は、特別講師として、当館自主講座「エコフラワー教室」講師の堀川先生に来ていただきました。そして、今年度も、生涯学習講座「エコフラワー教室」の卒業生の皆さんの協力を得て開催できました。参加者は、2年生から6年生までの8名でした。はじめに、堀川先生からエコフラワーについての詳しいお話があり、みるみる子供たちの活動意欲が高まるのが分かるほど、先生と子供たちのやりとりのすばらしさに引き込まれていきました。子供たちが一番苦戦するワイヤーの巻き方では「はじめに鉛筆の太さの丸を作り、次に、机の上にワイヤーを置いて、両手でゆっくり巻いていくといいよ」と、何回もやって見せながら、徐々に子供たちの不安を取り除いていかれたので、安心して活動に取り組みました。あとは、子供たちの感性の出番です。順番（葉っぱを先）に、整え方に注意しながら、思い思いに花を生けていきました。今回も、個性あるウォーターフラワーができました。

終了後に、堀川先生を囲み、簡単な座談会を実施しました。公民館活動との出会いや歴史、公民館活動に対する熱い思いを語っていただき、有意義な時間を共有できました。日程調整では、保育園の運動会と重なり、参加者が少なくなったことが課題となりました。



子供たちの作品

団体の活動紹介 ～EM 団子づくり～ 走潟老人会



慣れた手つきです！

6月8日(土) 走潟公民館において、老人会(田代幸士会長)による「EM 団子づくり」が行われました。走潟地区の排水の浄化を目的とし、年4～5回程取組んでいるそうです。今朝も、早朝より12～13名の会員の皆さんで、約400個のEM団子を、和気あいあいと楽しそうに作られていました。こうした地道な取り組みが、地域の環境づくりに役立つと感じました。

参加者の皆さんのお元気な活動の様子に、私も見習わなければと思ったところでした。



仲間と楽しくEM 団子づくり